

研究課題名	医療安全的観点からの、当院における医師の働き方改革に対応するための 当直帯間引継ぎ体制の整備に資する研究
研究の意義・目的	<p>本研究は、令和6年度 厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））「医療安全的観点からの、医師の働き方改革に対応するための医師の勤務時間帯間引継ぎ体制の整備に資する研究」の分担研究として、当院の働き方改革に伴う当直体制（通院救急患者受け入れ体制を含む）の、医師や看護師の皆さんたちの働き方における体制の課題や、次勤務者への引継ぎ体制の課題を抽出することを目的としています。</p> <p>皆様方のご意見をもとに現状と課題の把握に努め、他の分担施設から出てきた課題と合わせて分析し、今後、日本全体として、患者さんに安全な医療を提供でき、医療従事者のよりよい働き方を実現できるような政策に結びつく提言の策定を目指します。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2027 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2022 年 4 月～2023 年 3 月 ・ インシデントレポートを入力いただいた方（レポーター） ・ 事例に関係する患者さん
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく情報等の 項目	インシデントレポートのテキストデータ ・ インシデントの発生状況（自由記述） ・ インシデントの要因（自由記述） （状況、対応、改善策）部分から、「引継ぎ」「申し送り」に関するイベントと課題を抽出
提供する情報の取得 の方法	日常業務の過程で得られた情報
情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院医療の質・安全管理部と国際医療福祉大学が協力して行います。 【研究責任者】徳和目 篤史 【共同研究機関の研究責任者】国際医療福祉大学 山口悦子
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、個人を特定できない状態で管理されます。また、この研究から得られた結果が、関連機関のホームページ、学会、医学雑誌などで公表されることはあります。どのような場合にも、あなたの個人情報に関することは全く含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 今回の研究は、厚生労働科学研究費補助金（課題名：医療安全的観点からの、医師の働き方改革に対応するための医師の勤務時間帯間引継ぎ体制の整備に資する研究 研究代表者名：種田憲一郎 ）を受け実施します。
研究に協力を したくない場合	あなたの情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受

	けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 保険副主幹 徳和目 篤史 (トクワメ アツシ) h21534x@omu.ac.jp 06-6645-2771